

公益社団法人私立大学情報教育協会
2019年度第4回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会、情報リテラシー・情報倫理分科会、分野別情報教育分科会

I. 日 時：令和元年8月3日（土） 16：00～18：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会会議室

III. 参加者：斎藤委員長、大原アドバイザー、渡辺主査、玉田主査、高岡委員(Skype)、和田委員、金子委員、中西委員、児島主査、渡辺アドバイザー
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

1. 授業シナリオ再構築について、到達目標Cの教育モデルが提案・検討を進めて以下のような意見があった。

- ・ モデルの対象は、大学によって違いが出るが、基本的に4階で一連の流れとして想定している。
- ・ ビッグデータを取り扱う中で、暗黙知をどのように考えるのか、形式知とはならないことや経験が要素となることなど理解させるには課題があると思われる。
- ・ シナリオ以外に教員への指導環境が必要になるのではないか。
- ・ ビデオ解説を作成する場合は、オープンイノベーションのPBLについての説明も含めてはどうか。
- ・ 例えば、AIの体験ができるようなガイダンスを含めることはできないか。
- ・ どのように授業を行えば良いかの観点を最初に掲載する必要があるのではないか。
- ・ 取扱うデータは、例えば、データ関連のコンペなどで提供される場合もある。

2. 専門科目との連携モデルの更新について、3分野からの提案・検討を進めて以下のような意見があった。

- ・ 医療系（医学）の情報リテラシー教育授業モデル案は、医療プロフェッショナルに必要な医療情報の利用方法をテーマとして、医療手順に沿って治療方針に至るプロセスを疑似体験しながら医療情報の取り扱いを学び、機械学習・深層学習を用いた医療支援の概要も知ることのTBL型授業を、3年生を対象に4回での実施が提案された。
- ・ 文系（経済学）のモデル案は、まちづくり提案コンペへ参加する1年生を対象として基礎セミナー（6回）の取組みが提案された。SDGsなど今ある問題として、例えば輸出などをテーマに専門教育の中で3コマ程度の授業モデルが考えられないかとの意見があり、職（AIや産業用ロボットの導入による労働現場の変化）に関するモデルを検討することにした。
- ・ 理系（機械工学）のモデル案は、日本のエネルギービジョンをテーマとして、エネルギー情勢のデータ収集から需要のモデル化・シミュレーションを行い、エネルギービジョンの提案を行う授業の3年生対象に4回での実施について、前年度の授業結果を基に更新した内容での提案がされた。

V. 今後のスケジュール

- ・ 9月5日の教育イノベーション大会分科会Fで、社会で求められる情報活用能力育成のガイドラインの見直し案の提示・方向性の確認、モデル授業シナリオ・専門科目との連携モデルの更新について提案・協議を行うことにしている。また、分科会独自の参加者アンケートを行う予定にしている。